

2023年度「光華EDUALプログラム（全学、応用基礎レベル）」

自己点検・評価報告書

2024年 3月21日

京都光華女子大学 自己点検評価委員会

1. 点検・評価の実施と結果

全学科を対象とする「光華EDUALプログラム（応用基礎レベル）」について、2022年度の実施状況およびプログラムの達成・進捗状況の点検・評価を行ない、応用基礎レベルのデータサイエンス教育を概ね適切に実施していることを確認した。詳細は以下のとおりである。

2. プログラムを構成する科目と修了要件、および2023年度の履修状況

(1) プログラムを構成する科目と2023年度の履修状況

本プログラムを構成する科目の、2023年度の履修状況は表1の通りであった。カリキュラム改編の影響もあり、とくに2・3年次配当科目の履修者が少なかった。一方、選択必修科目の「プログラミング入門」と「くらしのなかの統計学」の履修者は増加した。

表1 プログラムを構成する科目と2023年度の履修状況

区分	科目名	単位数	配当年次 ／開講期間	履修者数 (学年毎、総数)				単 位 修 得 率
				1	2	3・4	合計	
必修	京都光華の学び	1	1／前期	366	24	15	408	86%
	データサイエンス入門	1	1／後期	365	9	6	380	90%
	AIへのアプローチ	2	2・3／後期	-	10	3	13	92%
	データサイエンスへのアプローチ	2	2・3／前期	-	6	4	10	80%
	データサイエンスPBL	2	2・3／後期	-	5	2	7	100%
選択	データサイエンスのための数学	2	1・2／後期	3	2	3	8	100%
	プログラミング入門	2	1・2／後期	54	13	6	73	95%
	くらしのなかの統計学	2	1・2／後期	58	14	5	77	69%

(2) プログラムの修了要件と修了状況

光華EDUALプログラム（応用基礎レベル、全学）対象者は2021年度以降入学者であり、修了要件は、必修5科目8単位に加え、プログラムを構成する選択科目から1科目以上を取得することである。

2022年度末時点での修了者は0名であったが、2023年度末時点で6名が本プログラムを修了した。その内訳は、2021年度入学生4名（キャリア3、心理1）、2022年度入学生2名（キャリア2）である。

3. 文部科学省「数理・データサイエンス・AI教育プログラム認定制度（応用基礎レベル）」への対応状況

本プログラムは、文部科学省認定制度の応用基礎コアI～IIIの各項目（例えば、Iの場合、1-6、1-7、2-2、2-7）を、下記のようにカバーしている。

- 応用基礎コアI（データ表現とアルゴリズム）

授業科目	単位数	区分	1-6	1-7	2-2	2-7
AIへのアプローチ	2	必修		○	○	○
データサイエンスへのアプローチ	2	必修	○		○	
データサイエンス入門	1	必修	○		○	
データサイエンスのための数学	1	選択	○			
プログラミング入門	2	選択		○	○	○
くらしのなかの統計学	2	選択	○			

- 応用基礎コアII（AI・データサイエンス）

授業科目	単位数	区分	1-1	1-2	2-1	3-1	3-2	3-3	3-4	3-9
AIへのアプローチ	2	必修	○		○	○	○	○	○	○
データサイエンス入門	1	必修	○	○		○	○			
データサイエンスへのアプローチ	2	必修	○	○	○		○		○	○
京都光華の学び	1	必修				○	○	○	○	○
データサイエンスPBL	2	必修	○	○						
くらしのなかの統計学	2	選択	○	○						

- 応用基礎コアIII（AI・データサイエンス実践）

授業科目	単位数	必修
データサイエンスPBL	2	○
データサイエンスへのアプローチ	2	○
データサイエンス入門	1	○

4. 履修者数、履修率向上に向けた計画の達成・進捗状況

今年度のカリキュラム改編に伴う移行期であったことから、プログラム必修で2・3年次配当の「AIへのアプローチ」、「データサイエンスへのアプローチ」および「データサイエンスPBL」の履修者が少なかった。履修ガイダンス等で学べる内容や魅力の周知を工夫し、履修者増を目指す。

以上